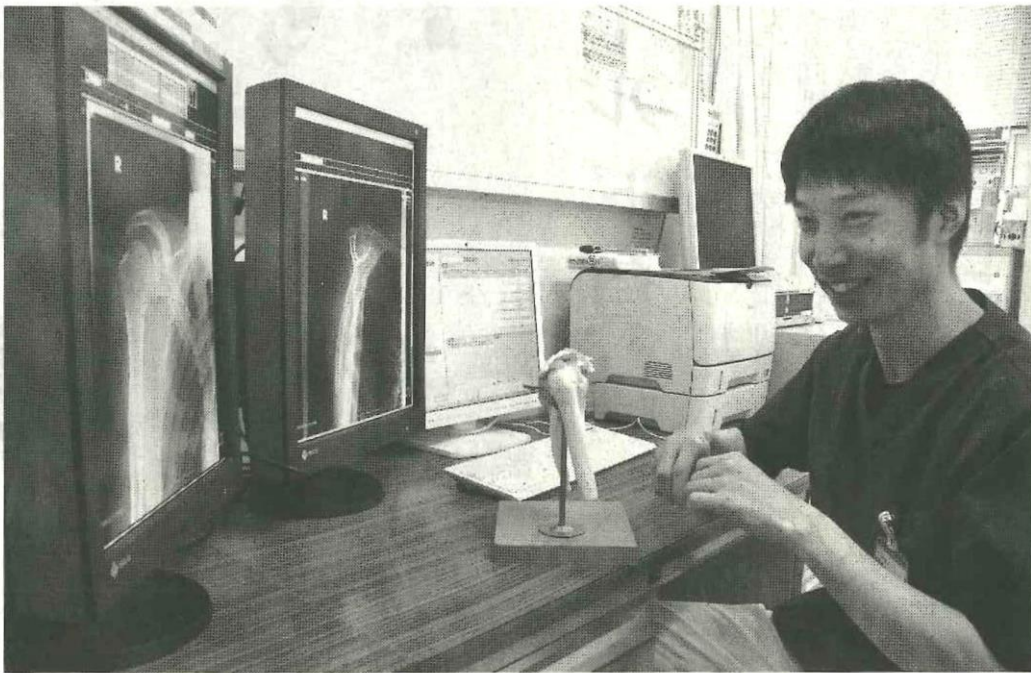


「肩・肘・手」の専門外来

製鉄記念室蘭病院にセンター



室蘭市知別町の製鉄記念室蘭病院(前田征洋病院長)は4月、専門外来「肩・肘・手の外科センター」を開設した。上肢の痛みや障害による影響は、日常生活にも支障が出るだけに、担当する亀田祐亮整形外科主任医長(36)は、「上肢のどこかが痛む、動きが悪い、しびれる、力が入らないなどの症状があれば、気軽に相談を」と話している。

(松岡秀直)

肩・肘・手(指)の上肢には、骨や関節に加え、筋、神経、血管、腱などが、複雑・繊細に入り組んだ構造となっている。このため上肢に痛みやしびれ、変形などが生じると、日常生活が非常に不便に感じてしまつたなど、体の中でも重要な運動器官の一つだ。

同病院では、鋭敏な感覚を持った器官特有の病気やけがなど、上肢に症状を訴える患者について細かく対応するため、整形外科領域では、脊椎脊髓センター、人工関節センターに次ぐ専門外来を設けた。

主な上肢の疾患として

専門外来「肩・肘・手の外科センター」の役割などを解説する亀田主任医長

痛み、しびれ…気軽に相談を

は「肩が痛い、上がらない」などの肩腱板断裂、「関節が痛い、動きが悪い」などの変形性関節症、「手先がしびれたり、力が入りにくい」などの手根管症候群、「指がひっかかったり、痛い」などのけんしょう炎がある。さらにスポーツや転倒などによる骨折や靭帯損傷なども多い。

これらについて、投薬、注射、安静、作業療法士による専門的なりハビリテーションも組み合わせた保存療法、手術など、「年齢やライフスタイルに合わせた治療、対応を行っていく」という。

診察日は毎週火曜日で、受付時間は午前8時半～同11時。このほか、亀田主任医長が整形外科外来を担当している毎週月、金曜日午前についても対応する。問い合わせは同病院整形外科外来、電話0143・47局4334番(午後3時～同4時半)へ。